

平成 29 年度 学校経営計画書

学校番号	54	学校名	県立榛原高等学校（全日制）	校長名	渡邊 昇司
------	----	-----	---------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

歴史と伝統を継承する中で、校訓「至誠真剣」の下、次の3点に重点を置いた学校を目指す。

- ア 自律的な生活習慣を身に付けるとともに、創造力、発信力、コミュニケーション能力を伸ばし、確かな学力とたくましい心身の調和のとれた人間教育を推進する学校。
- イ 将来の地域のリーダーの育成を目指し、地域との連携の中で個に応じたキャリア教育を推進する学校。
- ウ 思いやりの心を育てるとともに、心身の健康管理に努め、情操教育、健康教育を推進する学校。

(2) 目標具現化の柱

- ア 「時を守り、礼を正し、場を浄める」の生活信条を実践し、自律心を身に付けた生徒を育成する。
- イ 豊かな情操と高い知性を身に付けた生徒を育成する。
- ウ 高い志をもって、学習、部活動、学校行事に自主的、主体的に取り組む自立心を身に付けた生徒を育成する。
- エ 進路意識を高揚し、生徒の進路実現を図るため、きめ細かい進路指導を推進する。
- オ 積極的な授業改善を实践し、授業力向上に向けた教員研修を推進する。
- カ 校内組織の活性化及び学校経営参画意識の高揚を図り、職員の協働体制の確立に努める。
- キ 自他を大切にす態度や行動力を育み、安心安全な学校づくりに努める。
- ク 生徒、保護者、地域に信頼される開かれた学校づくりに努める。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	規律ある中での伸びやかな人間関係づくり	毎朝の登校時のあいさつ、声かけ、身だしなみ、学年による時差登校指導を継続し、落ち着いた雰囲気や足をそろえてのあいさつの励行を継承する。  コミュニケーションツールの適切な利用により、生活のリズムを守り、家庭学習時間を確保する。	昇降口での指導を毎朝実施	生徒 学年
			基本的な生活習慣の確立	
イ	高い学力とコミュニケーション能力の育成	アクティブ・ラーニングを取り入れた深い学びにつながる学習やICTの効果的な活用、大学や地域との連携を図ることにより、知的好奇心を喚起し、コミュニケーション能力や創造力を高める授業を行う。  医療系・科学技術系人材の育成を柱に理数教育の充実を図り、国公立大学及び医療系大学への進学者を増やす。	校舎内では携帯・スマホの電源を切り、バックの中に入れる指導の継続	教務 生徒 保健
			情報共有と初期段階での対応によるいじめの撲滅 非行等の問題行動0件	
			「授業の内容が分かる」と答える生徒 80%以上	教務 進路 研修 理数
			「自分の考えや成果を発表する機会が与えられている」と答える生徒 80%以上	
			医療系・科学技術系人材育成事業への満足度90%以上	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	「自立した榛高生」の育成	<p>スタディレコードの活用等、個別支援により主体的な学習態度を育成し、家庭学習時間を確保する。</p> <p>朝読書等を通して読書を推奨する。</p> <p>将来の自立に向けた教育活動を保護者と連携し、推進する。</p>	<p>家庭学習時間 前年度比 10%アップ</p> <p>1人の読書量年間10冊以上</p> <p>「弁当の日」の取組を推進 年5回実施</p> <p>生徒の学校満足度90%以上</p>	生徒 教務 保健 図書・広報 学年
エ	進路希望の実現	<p>総合的な学習の時間と連携したキャリア教育と計画的な進路指導を行い、第一志望を実現する。</p> <p>進路シラバスに基づき進路指導関係の各種取組を計画的に行う。</p>	<p>センター試験偏差値 全教科 50以上 国公立大学合格者60人以上 医療系大学合格者37人以上</p> <p>初期指導、面接指導などの進路指導関係の取組の充実</p>	進路
オ	授業力向上に向けた教員研修の推進	公開授業や教員・生徒による授業評価、相互授業見学等を行い、授業改善を推進する。	<p>授業見学 年2回以上 教職員の自発的な研修への参加 年1回以上</p>	研修
カ	教職員の協働体制の確立	<p>合言葉「チーム榛原」を意識して業務に取り組む。</p> <p>学校経営目標について全職員の共通理解と分掌・学年・事務部等、組織間の連携を行う。</p>	<p>分掌を超えたプロジェクトチームによる将来構想の策定</p> <p>教職員が協働、連携していると思う 85%以上</p>	全分掌 学年 事務
キ	安心安全な学校づくり	<p>自他を大切にできる態度や行動力を育む。 相談室を充実させ、悩みを抱えた生徒への個別対応を担当・学年・相談室・生徒課、外部機関等が連携して適切に行う。</p> <p>月初めの安全点検を通して修繕箇所・危険箇所を早期に発見し、迅速に対応をする。</p>	<p>学校支援心理アドバイザーとの連携、心の相談室などの積極的活用 必要に応じて迅速にケース会議を実施</p> <p>事務部と連携した早期の対応 安全点検 月1回</p>	保健 総務 生徒 事務
ク	開かれた学校づくりと広報活動の充実	<p>地域貢献活動に参加し、「地域とともにある学校」を積極的にアピールする。</p> <p>地域と連携した活動を通して、将来、地域のリーダーとして貢献できる生徒を育成する。</p> <p>中学校訪問大使（生徒による中学校訪問等）を活用して本校の情報や本校生の良さを積極的に発信する。 保護者や中学生へ進路情報を提供する。</p> <p>榛高だより、学年通信、保健だより、図書館報、ホームページ、メール配信等の充実を図る。</p>	<p>地域貢献活動参加者 300人以上</p> <p>牧之原市、大学、地元企業等と連携した「地域リーダー育成プロジェクト」及び「実社会プログラム」の推進 生徒の満足度90%以上</p> <p>中学校訪問大使 年4回</p> <p>保護者や中学生のための進路勉強会 年6回以上</p> <p>教育活動の様子や結果を、随時ホームページに掲載</p> <p>保護者の学校満足度90%以上</p>	総務 生徒 進路 図書・広報 保健 研修 学年